

## 平成27年度予算 教育委員会 主要政策

教育委員会では、「元気発進！北九州」プランの部門別計画である「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」及び「北九州市生涯学習推進計画」を着実に推進しています。

子どもの教育の分野では、教育プランに掲げる基本方針「教育日本一を実感できる環境づくり」を目指し、「子どもの教育」に対する満足度を高めるとともに、市民の参画を進める取組みを総合的に推進します。

また、生涯学習の分野では、生涯学習推進計画に掲げる「市民が学び、つどい、輝くまち、北九州市をめざして」を目標に、まちづくりを支える人材の育成に向けた取組みの一層の充実を図るとともに、現計画が平成27年度に終了することから、次期計画の策定を進めます。

平成27年度は、子どもひまわり学習塾、学校支援地域本部事業、経済界との連携による学校支援事業などをさらに推進し、学校、家庭、地域が総がかりで、「思いやりの心をもつ、自立した子どもをはぐくむ」という本市教育の目標の実現に向けて取り組みます。

### ◇ 子どもの教育に関する分野

#### I 学力向上に向けた取組み

- 1 「子どもひまわり学習塾」事業
- 2 北九州市学力状況調査事業
- 3 学校の読書活動推進事業
- 4 学校支援のための市費講師配置事業
- 5 小中一貫・連携教育の推進

#### II 特別な配慮を必要とする子どもの支援

- 6 「チーム学校」運営・推進事業
- 7 特別支援教育の充実

#### III 学校・家庭・地域が連携した取組み

- 8 地域と連携した学校支援

#### IV その他

- 9 「北九州市中学校合唱フェスティバル(仮称)」開催事業
- 10 小中学校等空調設備整備事業
- 11 学校施設の防災機能の強化
- 12 ひびきの小学校新設事業

### ◇ 生涯学習に関する分野

- 13 八幡図書館移転整備事業
- 14 中央図書館カフェテリア整備事業

教育委員会総務部企画課

TEL: 582-2357 ※個別の事業の内容については、各担当課へ  
担当(用田・藤田) お尋ねください。(P7参照)

## ◇ 子どもの教育に関する分野

### I 学力向上に向けた取組み

#### 1 「子どもひまわり学習塾」事業 【133,000 千円】

児童生徒の主体的な学習習慣や、基礎的・基本的な学力の確実な定着を図るため、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」の対象校を拡充して実施する。

##### 【事業内容】

実施校数：小学校 31校 ⇒ 70校  
中学校 11校 ⇒ 24校 5拠点  
※平成27年度から中学校は全中学校を対象

#### 2 **新**北九州市学力状況調査事業 【37,500 千円】

小学校から中学校まで児童生徒一人一人の学力を継続的に把握・分析し、学力の向上に役立てるため、新たに、本市独自の学力調査を実施する。

また、中学3年生全員を対象に、英語能力判定テスト（英検3級程度）を実施し、生徒に求められる英語力や学習状況の把握・分析を行い、本市の英語教育の更なる充実を図る。

##### 【事業内容】

調査対象 学力状況調査：小学5年生、中学1・2年生の児童生徒  
英語能力判定テスト：中学3年生

#### 3 学校の読書活動推進事業 【87,800 千円】

子どもたちが読書に親しむ環境を整え、学校図書館の利用を促進するため、中学校区に配置する学校図書館職員等の充実を図り、学校における読書活動を一層推進する。

##### 【事業内容】

学校図書館職員：27名 ⇒ 31名

#### 4 学校支援のための市費講師配置事業（特別支援学級補助講師分を含む）

【701,600 千円】

学力向上、いじめ・非行対策など、学校の課題や状況に柔軟に対応し、学校運営を一層円滑に進めていくため、市費講師を拡充配置する。

##### 【事業内容】

市費講師配置数：228名 ⇒ 243名

## 5 小中一貫・連携教育の推進

【2,000 千円】

2つの中学校区を「小中一貫教育モデル中学校区」に指定して、現行の小中学校の施設のもとで、9年間の連続性・系統性のある効果的な教育の推進方策について、2年間で今後の方向性を検討する。

### 【事業内容】

小中一貫教育モデル中学校区：南小倉中学校区（南小倉中学校、南丘小学校、南小倉小学校）  
花尾中学校区（花尾中学校、花尾小学校）

## II 特別な配慮を必要とする子どもの支援

### 6 「チーム学校」運営・推進事業 <一部再掲> 【241,118 千円】

学校を取り巻く環境が複雑化し、さまざまな教育課題への対応を迫られる中、特に生徒指導上の諸問題に対応するため、スクールソーシャルワーカー（注1）やスクールカウンセラー（注2）など専門性を持つスタッフを拡充し、教員とともに一つのチームとして学校の教育力を高める。

（注1）スクールソーシャルワーカー

社会福祉士又は精神保健福祉士の資格を有し、不登校や暴力行為など、問題を抱える児童生徒が置かれた複雑な家庭環境に働きかけたり、関係機関との連携の強化を図る職員。

（注2）スクールカウンセラー

児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する臨床心理士等の職員。

### 【事業内容】

○スクールソーシャルワーカー活用事業の充実 【39,600 千円】

スクールソーシャルワーカー配置人数：7名⇒8名

○スクールカウンセラーの配置・充実 【140,927 千円】

スクールカウンセラーの配置：

全62中学校に配置、全小学校に派遣

⇒全62中学校に配置、全小学校に派遣。全特別支援学校、高等専修学校に配置。

○いじめ対策の充実 【5,000 千円】

○少年サポートチーム推進事業 【30,357 千円】

○補導対策事業補助 【900 千円】

○ネットトラブル等防止及び啓発・研修事業 【5,000 千円】

○不登校対策の充実 【19,334 千円】

## 7 特別支援教育の充実 【3,418,763 千円】（他に債務負担 67,700 千円）

知的障害のある児童生徒数の増加等に対応するため、知的障害と病弱を対象とする門司総合特別支援学校を整備するとともに、総合療育センターの再整備に伴い、肢体不自由と病弱を対象とする（仮称）北九州総合特別支援学校の新校舎を整備する。

また、障害のある幼児児童生徒への適切な指導・支援体制の整備を一層推進するため、小学校入学前からの早期の教育相談・支援体制の充実を図るとともに、市費講師や特別支援教育介助員などの配置・活用を行う。

### 【事業内容】

- 門司総合特別支援学校の整備 【2,618,325 千円】（他に債務負担 67,700 千円）
- （仮称）北九州総合特別支援学校整備事業 【437,600 千円】
- 再掲**特別支援学級補助講師の配置事業 【150,700 千円】  
特別支援学級補助講師配置人数：37 名⇒47 名
- 市立幼稚園における特別支援教育のための市費講師配置事業 【17,600 千円】
- 再掲**スクールカウンセラーの配置・充実の一部 【5,300 千円】  
全特別支援学校、高等専修学校に配置
- 特別支援教育相談支援事業の実施・拡充 【44,955 千円】  
早期支援コーディネーターの配置：1 名⇒3 名
- 「特別支援教育介助員」の配置 【30,000 千円】
- 再掲**学校支援のための市費講師配置事業の一部 【73,696 千円】
- 「特別支援教育学習支援員」の配置 【9,700 千円】
- 特別支援教育推進事業 【12,704 千円】
- 特別支援学校における緊急時対応体制整備事業 【18,183 千円】

### Ⅲ 学校・家庭・地域が連携した取組み

#### 8 地域と連携した学校支援 【31,800 千円】

経済界と連携することで、企業がもつ人材や経営のノウハウなどを生かし、出前授業や児童向けの体験学習、教職員を対象とした研修などを行い、平成27年度も対象校を拡充して取り組む。

教員が子どもと向き合う時間の確保や地域の教育力の向上を図るため、地域コーディネーターを配置する学校支援地域本部の設置校を拡充し、地域の協力のもと、さまざまな学校の教育活動を支援する体制づくりを推進する。

##### 【事業内容】

○経済界との連携による学校支援事業 【5,500 千円】

対象校数（小学校）：40校 ⇒ 70校（予定）

○学校支援地域本部事業 【26,300 千円】

実施中学校区：42中学校区⇒47中学校区（予定）

### Ⅳ その他

#### 9 ⑨「北九州市中学校合唱フェスティバル（仮称）」開催事業 【3,400 千円】

音楽を通して、子どもたちに豊かな情操を育むとともに、音楽や合唱に親しむ本市の文化的風土を醸成するため、「北九州市中学校合唱フェスティバル（仮称）」を開催する。

#### 10 小中学校等空調設備整備事業 【797,600 千円】（他に債務負担944,400 千円）

良好な学習環境を確保するため、小中学校等の普通教室にエアコンを整備する。平成27年度は全中学校の普通教室に整備する。

## 1 1 学校施設の防災機能の強化 【1,119,100 千円】

学校施設に必要な耐震性を確保するため、平成27年度完了を目指して施設の耐震補強工事を実施する。

また、災害時の避難場所でもある学校施設の安全と安心を確保するため、体育館等の非構造部材の落下防止工事を実施する。

### 【事業内容】

#### ○耐震補強事業【809,700 千円】

補強工事：18校（小学校9校、中学校9校）

※耐震化率 平成26年度末93.3% ⇒ 平成27年度末100%（予定）

#### ○天井等非構造物落下防止事業【309,400 千円】

天井等非構造部材落下防止工事：20校

（中学校18校、特別支援学校1校、高等学校1校）

非構造部材（照明設備）落下防止工事：小学校屋内運動場10校

中学校屋内運動場10校

中学校武道場 32校

## 1 2 ひびきの小学校新設事業 【757,900 千円】（他に債務負担2,581,000 千円）

北九州学術研究都市整備事業の進捗により児童数が急増し、本市の分離新設基準を超えた光貞小学校の教育環境を改善するため、ひびきの小学校の校舎新設等に着手する。

## ◇ 生涯学習に関する分野

### 1 3 八幡図書館移転整備事業 【404,400 千円】

八幡図書館の移転・整備に伴う移転先の設計業務を行うとともに、改修工事等を実施する。

### 1 4 ⑨中央図書館カフェテリア整備事業 【39,300 千円】

中央図書館の利用者サービスの向上や賑わいづくりなどを目的に、館内にカフェテリア等の整備を行う。

## 教育委員会主要政策に関するお問い合わせ先

	主要政策（事業）名	主担当課
1	「子どもひまわり学習塾」事業	指導企画課（582-2367） 指導第一課（582-2367）
2	北九州市学力状況調査事業	指導第一課（582-2367）
3	学校の読書活動推進事業	指導第一課（582-2367）
4	学校支援のための市費講師配置事業	教職員課（582-2372）
5	小中一貫・連携教育の推進	指導企画課（582-2367）
6	「チーム学校」運営・推進事業	指導第二課（582-2367）
7	<b>特別支援教育の充実</b> ①門司総合特別支援学校の整備 ②（仮称）北九州総合特別支援学校整備事業 ③特別支援学級補助講師の配置事業 ④市立幼稚園における特別支援教育のための市費講師配置事業 ⑤スクールカウンセラーの配置・充実の一部 ⑥特別支援教育相談支援事業の実施・拡充 ⑦「特別支援教育介助員」の配置 ⑧学校支援のための市費講師配置事業の一部 ⑨「特別支援教育学習支援員」の配置 ⑩特別支援教育推進事業 ⑪特別支援学校における緊急時対応体制整備事業	①② 企画課（582-2357） ③④⑧ 教職員課（582-2372） ⑤⑥⑦⑨⑩⑪ 特別支援教育課 （582-2361）
8	地域と連携した学校支援	生涯学習課（582-2385）
9	「北九州市中学校合唱フェスティバル（仮称）」開催事業	指導第一課（582-2367）
10	小中学校等空調設備整備事業	施設課（582-2361）
11	学校施設の防災機能の強化	施設課（582-2361）
12	ひびきの小学校新設事業	施設課（582-2361）
13	八幡図書館移転整備事業	生涯学習課（582-2385）
14	中央図書館カフェテリア整備事業	中央図書館庶務課（571-1481）